

ももたろう
桃太郎 3

それにしても、鬼ヶ島は、どこにあるのでしょうか。舟ふねにのった

桃太郎は、舟ふねをどちらへ向けたらよいかわかりません。そこで、

雉きじが空高くとんで、鬼ヶ島のある方ほうを見つけました。

「桃太郎さん、こっちです。」

さあ、ついに鬼ヶ島へやってきました。

ちようど鬼おにたちは、えんかいをしているところでした。

おさけを、がぶがぶのんで、よっぱらっている鬼おにたちが、桃もも

太郎たろうに気がきつきます。

「なんでえ、おまえは。」

「桃太郎ももたろうだ。おまえたちをたいじしにきた。かくごしろ。」

桃太郎たちは、鬼たちをあいてに、大あばれです。

犬は、するどいきばで、「①」とかみつきます。

猿は、じまんのつめで、「②」とひっかきます。

雉は、ひらりとびまわり、鬼の頭をくちばしで「③」

とつつきます。

そして、桃太郎は、じまんの力で鬼をブンブンなげとばします。

強いこと、強いこと。

「ひい、まいった。たすけてください。何でも言うことを聞きます。」

鬼たちは、あつという間に、こうさんしてしまいました。

「もう村をおそって、村人にめいわくをかけないとやくそくしろ。」

問一 ①②③の「」にあうとおもう

ことばをえらびましょう。

ア ツンツン

イ ニヤアニヤア

ウ キヤツキヤツ

エ ガブリ

オ ピョピョ

① 「

② 「

③ 「

」

」

」

「わかりました、もうしません。」

「それと、村むらからぬすんだからものをかえすんだ。」

④ 「わかりました、おかえしします。」

こうして、桃太郎ももたろうたちは、たくさんのたからものを、鬼おにたち

にかえしてもらい、村むらへ帰かえっていきました。

村むらはもう、鬼おににおそわれるしんぱいは、なくなりました。

桃太郎ももたろうは、おじいさんとおばあさんとしあわせにくらしまし

た。

(おしまい)

問二 ④ 「わかりました、おかえししま

す。」は、だれが言ったことばでしょう
か。

ア 鬼おに

イ 桃太郎ももたろう

ウ 犬いぬ

「
」